

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]
(平成22年4月解析分)

1 疾患別定点情報

(1) 定点把握(週報)五類感染症

平成22年3月分(平成22年3月1日～3月28日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	221	0.48	13.83	↓	10	百日咳	25	0.09	0.05	↘
2	RSウイルス感染症	164	0.57	0.22	↘	11	ヘルパンギーナ	5	0.02	0.05	
3	咽頭結膜熱	82	0.28	0.35	→	12	流行性耳下腺炎	442	1.53	0.77	↗
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	277	0.96	1.67	→	13	急性出血性結膜炎	1	0.01	0.01	
5	感染性胃腸炎	2,910	10.10	9.72	↘	14	流行性角結膜炎	77	1.01	1.18	↗
6	水痘	473	1.64	1.56	→	15	細菌性髄膜炎	2	0.02	0.01	
7	手足口病	663	2.30	0.15	↗	16	無菌性髄膜炎	1	0.01	0.03	
8	伝染性紅斑	20	0.07	0.18	↘	17	マイコプラズマ肺炎	15	0.18	0.25	↗
9	突発性発しん	144	0.50	0.51	→	18	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	

(2) 定点把握(月報)五類感染症

平成22年3月分(3月1日～3月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号
19	性器クラミジア感染症	48	2.09	2.16	→	23	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	135	6.43	5.55	↗
20	性器ヘルペスウイルス感染症	19	0.83	0.68	↘	24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	41	1.95	1.31	↗
21	尖圭コンジローマ	15	0.65	0.56	↗	25	薬剤耐性緑膿菌感染症	2	0.10	0.19	
22	淋菌感染症	26	1.13	0.70	↗						

「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当り)
報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

急増減疾患!!(前月比2倍以上増減)

急減疾患 インフルエンザ (612件 221件)

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象21疾患,月報対象7疾患)について,県内178の定点医療機関からの報告を集計し,作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～12	13, 14	19～22	15～18, 23～25	
定点数	43	72	19	23	21	178

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	53	結核〔広島市保健所(19)、福山市保健所(12)、呉市保健所(2)、西部保健所(8)、西部東保健所(6)、東部保健所(5)、北部保健所(1)〕
三類	4	腸管出血性大腸菌感染症(2)〔O157 広島市保健所〕、細菌性赤痢(広島市保健所)、パラチフス(1)〔広島市保健所〕
四類	11	レジオネラ症〔福山市保健所〕、A型肝炎(10)〔広島市保健所(2)、福山市保健所(4)、呉市保健所(1)、東部保健所(3)〕
五類全数	10	後天性免疫不全症候群(3)〔広島市保健所〕、ジアルジア症(1)〔広島市保健所〕、アメーバ赤痢(5)〔広島市保健所(2)、呉市保健所(1)、西部保健所(1)、北部保健所(1)〕、ウイルス性肝炎(B型)(1)〔広島市保健所〕

3 一般情報

(1) 海外で注意すべき感染症について

4月29日から5月5日の大型連休中に海外に渡航される方は、健康で快適に旅行して帰国するためには、次表にあるような感染症に対する注意が必要です。

主な感染源	主な感染症	主な発生地域	主な症状	予防接種	予防策
食べ物	A型肝炎	発展途上地域	発熱、倦怠感、黄疸		十分加熱された食べ物を摂る。生水は飲まない。
	赤痢		発熱、下痢、激しい腹痛		
	コレラ		大量の水様便、おう吐、脱水症状		
	腸チフス		持続する高熱、倦怠感、比較的徐脈		
蚊の吸血	マラリア	熱帯亜熱帯地域	周期的高熱、悪寒、発汗		夜間の外出を控える。虫除けローションの利用、長袖・長ズボンの着用
	デング熱		高熱、目の奥の痛み、筋肉・関節痛		虫除けローションの利用、室内での香取線香の使用など
	ウエストナイル熱	北アメリカ	発熱、頭痛、筋肉痛、倦怠感		虫除けローションの利用、長袖・長ズボンの着用
動物	狂犬病	世界各地	発熱、頭痛、おう吐、倦怠感		犬や野生動物との接触を避ける。
	鳥インフルエンザ	南北アメリカを除く世界各地	発熱、頭痛、筋肉痛、その他風邪様症状		鳥類との接触を避ける。手洗い、うがいの励行
その他	寄生虫症	世界各地			衛生的な食堂での食事 手洗いの励行

(2) A型肝炎について

3月に入って10件発生(平成21年は1年で2件でした。)しており、例年より発生が多く推移しています。

【感染経路】 ウイルスは便に排出され、この便に汚染された水や氷、野菜・果物・魚介類を生で食べることでより感染します。また、ヒトからヒトへの二次感染が起こりやすいです。

【潜伏期間】 15～45日(平均30日)

【症状】 全身倦怠感、黄疸、食欲不振などですが、急激に発症することが多く、これらの症状に先立って38以上の発熱をみるのが多いのが特徴です。

予後は、大部分が良いですが、ごくまれに急性腎不全を併発したり、劇症化する場合がありますので注意が必要です。

【予防方法】 生水、加熱処理しない食物の摂取を避け、手洗いを(特にオムツ交換後、食前)励行しましょう。また、海外の流行地域に行く際には、予防接種を受けましょう。

【治りょう】 安静及び高蛋白質食が原則ですが、急性腎不全で尿が出なくなったり、肝炎が劇症化する場合は早期にその傾向をキャッチし、専門家のいる大病院での治療が必要です。